

海陽町土砂災害ハザードマップ

海南地区 (平井)

土砂災害による被害の種類

勾配の急な山や崖の多い日本は、土砂災害が発生しやすい地形的な特徴をもっています。危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識と自分が住んでいる土地についての知識を得ておくことが大切です。

急傾斜地(かけ崩れ・山崩れ)



地面にしみ込んだ雨水が土の抵抗力を弱め、緩くなった斜面が突然崩れ落ちる。日本で最も多い土砂災害で、人家の近くでも発生するため、逃げ遅れて犠牲になる人も多い。

土石流

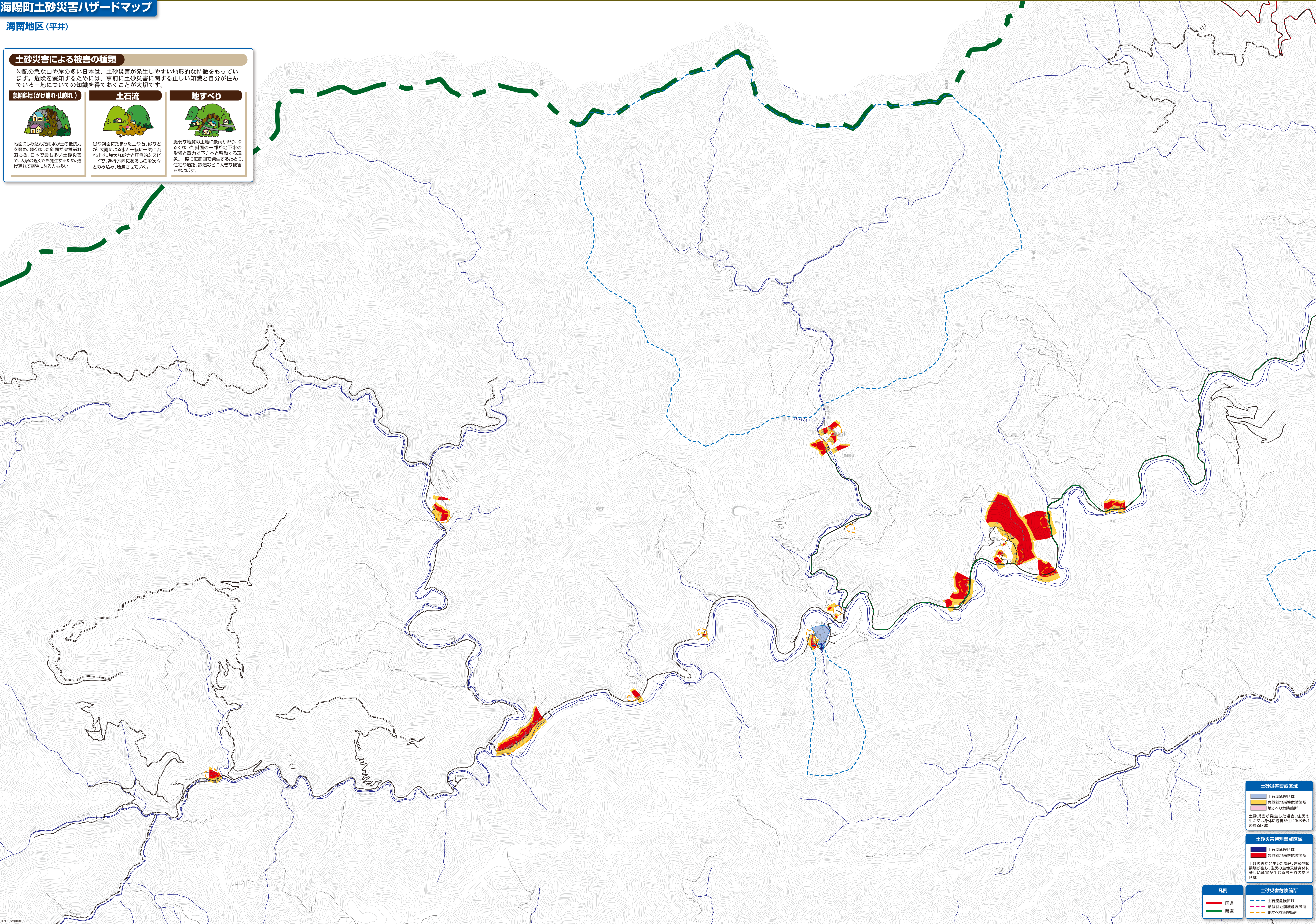


谷や斜面にたまった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出す。強大な威力と圧力的なスピードで、進行方向にあるものを次々とのみ込み、壊滅させていく。

地すべり



脆弱な地質の土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が地下水の影響と重力で下方へと移動する現象。一度に広範囲で発生するために、住宅や道路、鉄道などに大きな被害をおよぼす。



土砂災害警戒区域
土石流危険区域
急傾斜地崩壊危険箇所
地すべり危険箇所
土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域。

土砂災害特別警戒区域
土石流危険区域
急傾斜地崩壊危険箇所
土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域。

凡例
国道
県道
土砂災害危険箇所
土石流危険区域
急傾斜地崩壊危険箇所
地すべり危険箇所